

## 新春の浅間山

<須藤定久>

小学校への道，ズドンという鈍い音に振り返ると，浅間山に真っ黒なキノコ雲。頭の隅の鮮明な記憶の一部である。お正月の帰省時に子供の頃遊んだ丘から浅間山に望遠レンズを向けてみた。昨年，9月に中爆発した後，比較的静穏な状況が続いているようだ。撮影地点は浅間山の東方60kmの群馬県伊勢崎市下触町（北緯36度22分23秒，東経139度11分37秒）。



噴煙を上げる浅間山 (2005年1月3日 9:00, 400mm相当の望遠撮影)。噴き上げる多量の水蒸気が北西の強風で南東に流れ消えてゆく。南東斜面の雪が塵でうっすらと汚れている。左側のピークは剣が峰。



夕暮れの浅間山 1 (2005年1月2日 16:30, 400mm相当の望遠撮影)。夕焼けをバックにすると水蒸気が消えても，細かい塵が霞のように流されていくのがはっきりと見えてくる。



夕暮れの浅間山 2 (2005年1月2日 16:30, 80mm相当の望遠撮影)。細かい塵の流れは，関東山地の上に延々と続き，東京上空にまで達しているように見えた。